



(第8号)

発行所
高松市番町 高松高等学校内
発行責任者 綾田 整治
印刷所 例アモード印刷

綾田会長以下百名の役員で

「同窓会館建設準備委員会」発足

去る4月13日、本年度最初の玉翠会役員会が持たれた。会場となつた高松高校は、折から建築中の新体育館が、眼下公立高校で最大の堂々たる骨格の全容を見せつつあり、その雄姿を聞きながらの臨場感あふれる会議となつた。今日の主要な議題は、この体育館新設に引き続いて進行するはずの校舎全面改築に關する同窓会館建設についてであつた。「新校舎の一角に同窓会館を組み入れる」という従来の方針を實現するため、資金の問題をはじめとして、今後乗り越えなければならない課題もあつた。

限りないご支援を

会長 綾田 整治

玉翠会員の皆さまは、益々ご健勝にて活動のこととお慶び申あげます。望みの新体育館建設も昨秋より着手され、現在工事も順調に進捗しており、いよいよ本年12月に完成の運びとなりました。この体育館建設は、現在地での高松高校の校舎全面改築が行われることとなるようお慶び申あげます。こうした状況の中で、一学期も終ろうとしております。当面の大きな課題は、全国的に注目を集めた、来年度の国立公立大学の入試であります。公表された日程は、私どもの希望とはおおよそかけ離れたものであり、特に本校のようにはほぼ全員の生徒が国立公立大学を志望する高校にとっては、昨年以上の難題に直面したわけであり、目下進学指導部及び三年生中心に、この対策に懸命に取り組んでいるところでもあります。

あいさつ

学校長 松繁 壽義



去る四月一日、高松高校にまいりました。本校は、これまで動もたずとありましたが、久し振りに古巣に戻ってきた安堵感と今浦島の高さが七メートル余、バスケットコートが公式戦で二面取れる堂々たる新体育館でありました。そのための限られた期間に見えからご協力ご助言を賜り、暖かい母校愛に感謝いたしますとともに、本校の歴史と伝統の重みを強く感じているところであります。ご関心の高い新体育館は、工事も順調に進歩し、現在屋根の部分で作られておまして、個人の住居ならさうとう構が上つたという

同窓会館建築に向つて 募金活動開始

5月末に同窓会館建設等についての趣意書を会員全員に郵送致しましたところ、6月中旬に約三〇〇名の方々に約三〇〇〇〇〇万円の寄付金を頂戴し順調に船出を致しました。皆様方の一層のご協力をお願い致します。

同窓会館施設等建設事業予算書 香川県立高松高等学校玉翠会

1. 収入の部	
(1) 寄付金	200,000,000円
(2) その他の資金	10,000,000円
収入合計	210,000,000円
2. 支出の部	
(1) 同窓会館施設建築工事	160,000,000円
(電気設備、給排水設備工事を含む)	
(2) 同窓会館施設設備購入費	26,000,000円
(3) 体育館等設備、諸設備工事	14,000,000円
建設工事等経費計	200,000,000円
(4) 募金諸経費	10,000,000円
①印刷費	1,210,000円
②旅送金	210,000円
③通信費	4,300,000円
④送付手数料	1,800,000円
⑤人件費、旅費その他	2,480,000円
支出合計	210,000,000円

香川県立高松高等学校 同窓会館建設準備委員会 会則

- (名称) 第1条 この会は、香川県立高松高等学校同窓会館建設準備委員会と称する。
- (事務所) 第2条 この会の事務所は、高松市番町3丁目1番1号香川県立高松高等学校内に置く。
- (目的) 第3条 この会は、同窓会館の建設及び体育館の増設・諸施設の整備を目的とする。
- (役員) 第4条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
 - 1 同窓会館建設事業賛助活動の推進。
 - 2 同窓会館建設事業の実施にかかる寄付金の募集。
 - 3 体育館の増設・諸施設の整備その他、この会の目的を達成するために必要な事業。
- (役員) 第5条 この会は、第3条の目的に賛同する者をもって組織する。
 - 1 会長 1名
 - 2 副会長 若千名
 - 3 理事 若千名
 - 4 監事 3名第6条 役員は次のとおりとする。
 - 1 会長は、会務を統括し、この会を代表する。
 - 2 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたときは事務執行するに当たっては、その職務を代行する。
 - 3 理事は、会務に従事する。
 - 4 監事は、会計を監査する。第7条 役員は、総会において選出する。
- (顧問) 第8条 この会に、顧問・参事を置くことができる。顧問・参事は、会長が委嘱する。
- (総会) 第9条 総会は、会長が招集し、会長はその議長となる。総会は、会務報告、事業計画及び予算・決算の承認その他重要事項について審議する。総会は、最高の議決機関である。
- (役員会) 第10条 役員会は、会長が招集し、会長はその議長となる。役員会は、緊要を要する事項に關しては、総会にかわつて議決することができる。
- (募金委員) 第11条 同窓会館建設事業にかかるとる寄付金の募集のため募金委員を置く。募金委員は、第6条に定める役員、玉翠会、地城、職域を考慮して会長が委嘱する。
- (会計) 第12条 この会の経費は、寄付金及びその他の収入をもってあつて、第13条 この会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年3月31日に終る。
- (雑則) 第14条 この会則は、昭和62年3月1日から施行する。

高松高校同窓会館建設準備委員会役員

(卒業年度順)

役名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
会長	綾田 整治				
副会長	大社 義規	國野 美代子	井上 房一	大社 ヒサエ	宮井 仁之助
	大西 朗市	多田野 久	太田 英章	藤井 康宏	今津 曜子
理事	松繁 壽義				
(高中)	平田 清高	木村 寿雄	永井 啓	中村 茂夫	広瀬 実
	吉峰 泰夫	西村 義春	植田 潤	多田 雅夫	丸山 修
(晩輩)	加藤 達雄	岩部 隆	内海 義夫	三宅 俊三	河野 猛
	倉岡 ミスエ	陶 武子	湯浅 美恵子	松房 カズ子	真部 隆子
(高高)	形見 米子	尾形 カズエ	脇 和子	谷本 文子	大久保 和子
	相谷 勝一	平井 温子	道代 久雄	村尾 義典	宗政 安雄
	加藤 芳宏	小林 安暢	中山 孝幸	木村 大三郎	小松 重貴
	加藤 敬昌	國野 一郎	治朗 孝明	徳永 孝明	国東 照美
	佐竹 睦子	赤松 和彦	大西 大介	中山 隆司	香西 幸夫
	森田 敏一	吉岡 哲朗	村井 雄一	松本 敏裕	園子 幸夫
	多田 幸生	中村 秀明	河野 雄一	田中 忠彦	斎藤 幹雄
(学校)	間島 賢治	玉木 嘉之	南 繁文	高田 昌彦	山田 泰三
	松野 嘉之	西本 建治			
(監事)	真鍋 善雄	安達 惠美子	前田 道正		
(顧問)	芦原 義重	平井 健吉	広瀬 晃博	脇 信明	高岡 哲夫
	福井 正	藤本 孝雄	溝渕 清	平井 卓志	森田 一
	都村 忠弘				
(参与)	福井 隆義	久米 川久夫	中 与一	瀬波 敬一郎	岩本 三夫
	田中 清春				

私たちはいま
「親しみやすい銀行」
「ひと味違う銀行」
をめざして
がんばっています。



「お客さまの立場に立つて、
どんなことができるのか?」
「そのためには何をすれば...?」
いま、私たちは、
ひとりひとりが自分自身に
問いかけています。
昨日より今日、今日より明日、
少しずつですが、お客さまから
「親しみやすい銀行」
「ひと味違う銀行」として、
評価していただければ幸いです。

ひと味違う
百十四銀行

家庭的な雰囲気

第8回岡山玉翠会



昭和61年11月8日(日)午後一時、秋晴れのこの日、会場には、岡山から香川から、更に、京都神

東京とその周辺の高中、高女、高専の卒業生が集う第四回東京玉翠会総会が昭和六十一年七月五日、昨年と同じ赤坂プリンスホテルのクリスタルパールの大ホールで開会されました。会中も高専九十年の歴史を紹介したスライドが上映され、また正面スクリーンに設けられた大型テレビには高専の校舎、入試の発表風景、OBによる演奏に合わせた高専の歴史、二十七年卒業生の寄付による新設された東京玉翠会館を先頭に来賓の方々が入場されて華やか



「明治卒」から「新人類」まで 年齢差、実に77歳！ 第四回東京玉翠会

会場脇のホールに展示コーナーが設けられ、猪木匡四郎さんの日本画、橋野恵子さんの洋画、その他写真、彫塑、人形、墨絵、刺繍、草木染、焼物等会員の作品が四十点展示されました。又書籍コーナーも設けられ、平尾吉幸さん、珠井福子さん等卒業生の出版物が並べられ、南極コーナーでは越冬隊員であった上田豊君の持ち帰ったペンギンの卵等も展示されました。会場では何年振りかの感謝の対面、このころに講義が飛び交い、笑い顔が見られました。会の終盤には出席者の中で最年長者(高田明治四十四年卒、大田順先)と最年少者が紹介されました。その年齢差は実に七十七歳です。母の歴史の深さあらためて認識されました。ファイナルでは合唱部と後援部のOBを中心として高専、高女の卒業生が壇上に上がり、スチージョ会場とて校歌を大合唱しました。そして最後に、「今日の日にはさようなら」を合唱しながら来賓の再会を期して閉会しました。

『着物の歴史』もバザーも 晩翠会京阪神支部総会



昭和61年6月8日(日)、午前十一時より午後三時まで、阪神百貨店グリーンランドで例年のように開催いたしました。母より渋谷頭先生、桜又先生、山田先生のお三方、晩翠会本部より、岡野会長様がご出席下さいました。支部長の岡本様が体調をくずされ、五月に入ってから入院されましたが、総会の日にはどうしても出た方への再会に心暖めていた。入船健一事務局長(高専92)の閉会の挨拶に、「岡山のこの会は、秋の叙職等の同意関係労働者のご披露、さらに新体育館建築の必要が報告された。昭和41年度の幹事団の進行で、総会がにぎやかに進められ、久

今年は我々三十七年度卒業生が幹事役を担当させて頂きました。二十七年、四十七年の方にもお手伝いいただき、三十八年にはプログラムの編集、三十九年には受付、四十年には図書資金をやっていただきました。展示コーナーへの出品、プログラムへの投稿、景品等寄付等、実に多くの先輩、後援の御協力を頂きました。同様に学部に学んだというだけで、気持よく御協力下さった先輩、後援の方々に感謝申し上げ、共に進んでいくことを期して閉会しました。三十七年度卒業生

私の高専生活は昭和五十年から五十年までの五年間でした。この五年間、昭和五十年、六十年の財政緊縮政策、新入、大蔵省前首相の御指導、昭和六十年の諸州府愛媛七十年の上野市、昭和六十年の国連連盟脱離等と自由主義時代といはいえ、この内外は世界不況の余波を受け、必ずしも良き時代ではなかったように感じています。学校内では一年生の折五生、同僚校、昭和八十年には創立四十周年記念祝賀が行われた。間もなくして武道場が全壊という構想が起きた。

投稿 文武両道 高中40回 竹内久士

権大会(準決勝)の出場があった。それから五十数年高専中、高校の甲子園出場を聞いたことがないのが残念である。いや野球部だけでなく、柔道部、剣道部、バスケ部など、全国及び近畿を制覇したものだ。その理由に強かったのもそれだけの理由があった。当時の青木校長は放課後各部の練習場に自ら足を運び選手に直接接し、まじの言葉をかけられていた。校長の陣前指導でやられては、部長先生はもとより部員の、眼に血が入る」のは当然であった。

吉本カネ様を憶う 岡野 美代子

晩翠会前会長の吉本カネ様は昨年六月に亡くなりました。長い間、会長の職を引受けられて、その温かな表情、上品な物腰、やさしい語りのお言葉が上手に会を運営されました。今思ひ出すと、なつかしいことです。前会長の浜田セイ様や山崎先生と一緒に諸行事のたたらに、校舎の建築にかかわり、資金にはじまりもろもろのご苦労があらわれた事と存じます。

- | | |
|-------------|------------|
| 金谷春雄 (33) | 山田 明 (35) |
| 玉木敏行 (38) | 栗原久芳 (38) |
| 野原良正 (38) | 稲家 傳 (40) |
| 菅島忠昭 (41) | 鈴木 一 (48) |
| 前川 旦 (52) | 川井 潤作 (52) |
| 原田 等 (53) | |
| 松尾八重野 (明42) | 吉本カネ (42) |
| 岡内セツ (大4) | 高重 基 (5) |
| 岡本フサ (8) | 本 條 基 (15) |
| 柏原志加子 (15) | |
| 片山チエ (昭4) | 馬場 植子 (4) |
| 宮武次代 (5) | 岡野マキ (7) |
| 宮城千枝子 (7) | |
| 納田 一子 (7) | 田原フミ子 (11) |
| 小林美香子 (14) | 中村トシ (19) |
| 竹内美香子 (18) | 岡本 子 (18) |
| 前田幸子 (20) | 宇佐 子 (21) |
| 安藤三枝 (23) | 川原 裕子 (23) |
| 高専部会 | |
| 中村幸雄 (26) | 猪熊 等 (26) |
| 西谷 浩 (27) | 村井 修彦 (27) |
| 栗原芳雄 (39) | 三崎 健 (58) |
| 重信 久久 (58) | 三崎 亨 通信員 |
| 旧職員 | |
| 田嶋 秋山 仁平 | 島田 芳秋 |

幸せな食創り
大河への挑戦!
「食」に対する欲求は、人間の欲求のなかでも、とりわけ根源的なものだといえます。この欲求の進化に伴う食生活の見直しや本質の追求は、文化という形になって私たちの生活を潤いつづけてきました。この食生活をあらゆる側面から応援し、幸福な生活づくりのお手伝いをする。これが、日本ハムの提唱する、「幸せな食創り」です。



綾田 整治	会 長
高松市番町三十一	事 務 局

玉翠会事務局

**本年度(62年)会費
受けつけ開始します**

会費 1口1,000円

**同封の「玉翠会費納入用紙」
をご利用下さい。**

**振替口座
徳島 3-31115
又は
百十四銀行口座番号0078326**

